

## これまでに肺癌の外科治療を受けた患者さんへ 【過去の診療情報の調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院呼吸器外科では「すりガラス陰影を呈した同葉内原発性多発肺癌に対する肺切除後の後ろ向き非介入観察研究」という研究を行っております。この研究は、同肺葉内に多発した肺癌の手術成績を調べることを主な目的としています。そのため、過去に肺癌の外科治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

この研究の対象となる患者さんは、原発性多発および単発(すりガラス陰影を含む)肺癌の方で、西暦2010年1月1日から西暦2016年12月31日の間に呼吸器外科で外科治療を受けた方です。

・利用させていただくカルテ情報、およびカルテ期間は下記です。

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査、心電図検査、呼吸機能検査、病理検査、遺伝子検査)

期間：西暦2010年1月1日～西暦2016年12月31日

追跡期間：西暦2022年12月31日まで

この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。また、情報の利用を開始する予定日は以下のとおりです。

- ・研究実施期間 研究実施許可日 ~ 西暦2028年12月31日まで
- ・利用を開始する予定日：研究実施許可日以降(西暦2024年6月以降)
- ・研究責任者 鈴木 健司

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表しますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

この研究は、呼吸器外科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、研究対象者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しな

作成日：2024年4月1日

いと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

**【問い合わせ先】**

順天堂大学医学部附属順天堂医院 呼吸器外科

電話：03-3813-3111（順天堂医院大代表）

研究担当者：服部 有俊